城南地区まちづくり協議会会報誌　　２０２３年３月２１日発行

城南の風

編集・発行
城南地区まちづくり
協議会総務部
〒669-2461
丹波篠山市小枕 131
コミュニティセンタ
ー城南会館内

あたたかくなってきました。
ちょっと　出かけてみませんか？

　コミュニティセンター城南会館の前に『城南ふるさとマップ』が掲示されています。（２０１２年まちづくり協議会作成）「城南地区にはこんないい所がありますよ。行ってみませんか」と語りかけるように、名所や旧跡、県指定天然記念物や市指定文化財などが紹介されています。

　あたたかな日差しに誘われるように、草花が芽を出し、生き物が動きだしました。春です。お友達やご家族で、ちょっと、近くを巡ってみませんか。

　まちづくり協議会文化部では城南地区の素敵な場所を紹介しようと看板を設置する予定です。その一つが『二村神社』（真南条中）です。国道３７２号線沿いにあります。この神社の氏子は今田の小野原から古市、真南条、味間、大山、西紀の南河内の広い範囲にまたがっていたということです。もともとは、古市の御内村（身内）にあったのですが、氏子間の争いなどがあり、紆余曲折を経て、１５７３年に真南条村の今の場所に鳥居と社殿が造られ、現在に至っているということです。　遠い昔に思いを寄せながら訪れてみてはいかがでしょうか。

「丹波篠山が大好きです」

１月２２日（日）に、小枕にある「アグリステーション丹波ささやま」で、大学生と地域の方々との交流会がありました。大学生は、昨年からアグリステーションで活動を行っている神戸大学多世代交流拠点サークル「ルオント」（luonto）の皆さんです。

山の芋など地元の食材を使った調理を囲みながら、それぞれの活動について話したりビンゴをしたりと、和やかな雰囲気で会は進みました。調理は、すべて、大学生が地元の方に教わって自分たちの手で作ったものでした。

「ルオント」代表の長友さんは、「昨日から、調理や皆さんを迎える準備がうまくできるのか心配で、心配で・・」と言いながら、「こうして皆さんとお話ができてうれしいです」と、笑顔いっぱいで話してくれました。どの学生も、緊張がほぐれるにつれ「丹波篠山が大好きです」「ここに来るのが楽しいです」と話してくれました。

農業体験や手作りのキッチンづくり、特産物を活用した焼き菓子など、やりたいことがいっぱいある彼ら彼女の眼はキラキラと輝いていました。これからの交流が楽しみです。

みんなの福祉

～ ふだんのつながりを大切にしながら～

2 月 17 日(金)に『城南地区福祉会議』がありました。城南地区の福祉関係者が集まり、情報を交換し、困りごとや課題解決に向けて話し合い、住みよい地区にしていこうというものです。参加者は、各自治会の民生委員・児童委員、民生・児童協力委員福祉委員、まちづくり協議会役員、社会福祉法人連絡会の皆さんと自治会長です。

まず、それぞれの活動について話し合いました。活動は、福祉に関する相談支援や、地域での福祉活動、子育ての支援、住民の困りごとに気づき行政などにつなげる活動、ふれあいサロンやいきいきサロンなどのお世話など、実に多岐にわたっていました。

どなたも、散歩や田んぼ仕事などで交わす何気ない日常のふれあいや会話を大事にされていました。そして、時には、家々を訪れたり、気になる方に電話をしたり、声をかけたりするなどをして、困りごとに気づき、寄り添い、支援をされています。

そんな皆さんですが、さらに、「地域の方に自分の存在が知られていないと思うので、知ってもらえるようにしたい」「多くの方とコミュニケーションをとっていきたい」と言われていました。頷いている方も多く、委員さんだけでなく、自治会や行政も一緒になって、地域全体の課題として取り組んでいこうと話し合いました。

同時に、委員の皆さんだけに任せるのでなく、私たち一人ひとりが、身近なお隣さん同士で連絡を取り合ったり、非常時の約束事を決めておいたりするなど、「近くの見守り体制を大事にしていこう」と話し合いました。

委員さんは誰が委嘱しているのか

民生委員・児童委員は厚生労働大臣が委嘱し、120～280 世帯に１名配置されています。民生・児童協力委員は兵庫県知事が委嘱し、民生委員・児童委員１名につき 1～２名配置されています。福祉委員は、丹波篠山市社会福祉協議会会長が委嘱し、各自治会に１名配置されています。いずれも任期は３年です。